

# 「瀬戸茶入」入門

## ～名物茶入の見方

講師 前愛知県陶磁資料館館長補佐 井上喜久男



唐物一辺倒であった初期茶道の世界に、和物の茶入が使われるようになったのは、桃山時代から江戸時代にかけてです。和物の茶入としては、鎌倉時代に開窯されたとされる瀬戸窯が唐物茶入の写しをつくり始め、わび茶の湯が大成されるに応じて盛んに焼成されるようになってきました。

江戸時代以来、窯分け手分け分類されてきた瀬戸茶入を考古学による陶磁研究から見直し、名物茶入の見方を学びます。



■日 時 第3水曜 13時半～15時

■受講料 3回分9,000円  
各回3,400円

### お申し込み方法

ご予約のうえ、下記口座にお振込み下さい。または当日ご持参下さい。

三菱東京UFJ銀行 栄町支店 普通預金口座  
0160603 名義：創企舎ソフィー

お申し込み・お問い合わせは

### 創企舎 ソフィー

460-0007 名古屋市中区新栄2-6-13 共生印刷北館2階

Tel/Fax 052-684-5894 直通090-8474-6363

Email: soukisha-sophy@gd5.so-net.ne.jp

URL : <http://s-sophy.com>

創企舎ソフィー

検索

### 会場案内図

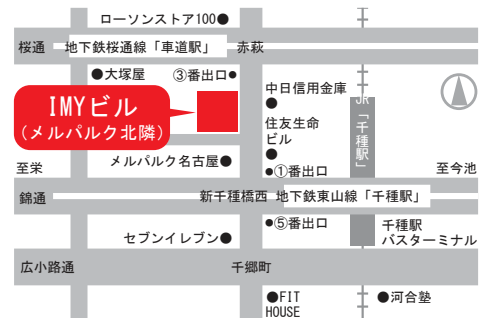
#### IMY (アイエムワイ) ビル会議室

〒461-0004 名古屋市東区葵3-7-14

地下鉄東山線「千種」駅①番出口徒歩2分

地下鉄桜通線「車道」駅③番出口徒歩1分

JR「千種」駅徒歩5分(メルパルク北隣)



創企舎